

西京区社会福祉協議会 賛助会員募集!

社会福祉協議会の活動を支えていただく「賛助会員」を募集しています。会費は、学区社協が行う居場所づくり、子育て支援や、区社協が行う生活支援等の福祉活動に活用されます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

募集期間 12月～平成27年2月
※学区・地域により異なる。

会費 個人1口500円、法人・団体1口1,000円

募集方法 学区・地域ごとに自治会・町内会を通じて募集。区社協でも直接受付。

問 区社会福祉協議会 (☎394・5711)

10月30日・31日、西京区役所で開催 菊花展・俳句作品展・フラワーアレンジメント作品展

- 菊花展で人気が高かった作品の出品者
- 1位 長尾 雄市 (大原野)
 - 2・3位 森園 秀治 (桂坂)
 - 俳句作品展で人気が高かった句
 - 1位 姿見に 背筋伸ばして 敬孝日
 - 2位 金色の 棚田にそよぐ 秋の風 平田 恭代 (川岡東)
 - 3位 金婚の 二人三脚 むかご飯 須々木誠子 (新林)
 - 3位 空仰ぎ 笑つてゐるよな 井手 泰子 (大原野)
- フラワーアレンジメント作品展
- 山本千代子 (榎原) (敬称略)
 - 豊珠沙華



<1位の作品>

市長×「なんやかんや大原野」 おむすびミーティング開催

10月29日、門川市長が皆さんの活動の場を訪れ、交流する「おむすびミーティング」が、大原野で開催されました。大原野の活性化を目指す農家の有志団体「なんやかんや大原野」の皆さんが、市長を囲み、ひまわりのイベントを通じた地域の魅力発信の取組や農業にかける若手農家の想い、住みやすい大原野のまちづくりなどについて熱心に意見交換を行いました。



市長からは、「大原野の取組が、様々な課題を抱える農業地域の成功事例になるよう共に取り組んでまいりましょう」との熱い呼びかけがありました。

大原野森林公園だより②4



今月の樹木 ツルウメモドキ (ニシキギ科)

見ごろ 12月

豆知識 落葉つる性の植物。秋に果実が熟すと3つに割れ、赤い仮種皮に包まれたオレンジ色の種子が顔を出す様子が美しいため、年末の生け花の花材としてもよく見かける。

ホームページ 大原野公園 **検索**

問 北部みどり管理事務所 (☎882・7019)

クリスマスコンサート

「邦楽一心」による琴と尺八の演奏によるコンサートです。ぜひお越しください。

時 12月20日(土) 午後1時30分
所 西文化会館ウエスティ
定 先着120名 ¥無料申当日、直接会場へ。
問 邦楽一心 代表 (☎090・8446・0812)

4コマ漫画 たけによんの「2014年を振り返る」

おもみそが 12/31

2014年、いろいろあったよ〜ん

でもでものこたんはいつもおるすばんばかりだったのん

3 1 ほっこり
4 2 ほっこり

来年も、西京区の広報部長としてがんばるよん みなさんよろしくおねがいします

6月には誕生祭でいっぱいお友達ができたし...

サンガや女子プロ野球の始球式に、

岡崎レッドカーペット...

楽しかったよ〜ん

ごみの出し方に注意しましょう

大掃除等でごみを出されることが多くなる年末年始。ルールを守ってゴミ出しをしましょう。

【ごみ出しのマナーと注意点】

- ◆ごみは分別し、指定された袋で袋の口をきちんと結んで出す。
- ◆ごみは詰め込み過ぎず、片手で持てる程度の重さにする。
- ◆前夜に出さず、収集日当日の朝8時までに決められた場所へ出す。
- ◆1回の収集で、概ね2袋(45リットル袋の場合)程度までにする。
- ◆汚物(紙おむつ等)などやむを得ない場合を除き、できるだけ二重袋の排出はひかえ、生ごみは十分に水切りをする。
- ◆陶器やガラスなど、割れると危険な物や竹串など尖った物は、厚紙や新聞紙等で全体を包み、ごみ袋の中央に入れる。

問 西京エコまちステーション (☎366・0192)、洛西エコまちステーション (☎366・0194)

市民しんぶん西京区版11月15日号のクイズの答えは「たけによん」でした。

西京建物・庭園探訪

「京都を彩る建物や庭園」

西京区内で「京都を彩る建物や庭園」に選定された建物等を紹介いたします。

教会の建物(聖堂)の概要

建築家でもあった木匠家具デザイナーの日系アメリカ人ジョージ・ナカシマの設計で、昭和40年に完成。鉄筋コンクリート造の平屋建てで、ひし形の平面形に大屋根をかぶせたシンプルかつ大胆な形状である。シャープな外観の屋根は薄く軽く設計されている一方、外壁は厚みを持たせ、柱を使用しないシェル構造となっている。

教会外観

屋根はエントランス側からその対角に位置する祭壇に向かって反り上がり、まるで神の世界へ導かれるような印象を与える。それに対峙してその代り、現在の教会は、現在の1.5倍近い高さがあったという。

教会の広報を担当されている柴田長生さんにお聞きしました。

―建物の特徴は?―

建築当時、桂周辺はまだまだ田畑の多い地域だったため、コンクリート打ち放しの外観は大変モダンで、人々の目を引いたと思われれます。外観だけでなく建物内部も、十字架形のステンドグラスの窓や天井に吊るされた行灯など、ナカシマこだわりのデザインを堪能できます。

柴田長生さん

―今後の活用や管理は?―

ホールは、各種地域活動やコーラスの方などに貸しています。建物の維持・管理については、教会だけでなく信者も、地域に開かれた教会を目指して、活用しながら次の世代へ守り継いでいく、という意識を持つことが大切だと思います。

―ありがとうございます。―

(聞き手) 文化財マネージャー 風月 匠幹 廣 (ほか2名)

西京区川島尻堀町30 (☎381・32688)

「京都を彩る建物や庭園」への皆さんの推薦をお待ちしています。

詳しくは市文化財保護課 (☎366・1498) 又はホームページまで。

検索

教会内部

きます。丸窓の内側には四角い障子が組み合わせられ、和洋折衷の不思議な雰囲気を出しています。

―建物の保存で大変なことは?―

木製の十字架や窓枠などが腐食したため、30年ほど前、全面的に修理し、15年前には、屋根の軒先の剥離・外壁のひび割れなどの補修をしました。現在、建物や庭のメンテナンスなどを可能な限り信者で役割分担し、営繕費用の積立も行っていますが、信者の高齢化が進んでいることが課題です。

―今後の活用や管理は?―

ホールは、各種地域活動やコーラスの方などに貸しています。建物の維持・管理については、教会だけでなく信者も、地域に開かれた教会を目指して、活用しながら次の世代へ守り継いでいく、という意識を持つことが大切だと思います。

―ありがとうございます。―